

指定管理者モニタリング結果

特定非営利活動法人ワーカーズコープ(城山学童保育所ほか3箇所)

基準番号	モニタリング基準	モニタリング項目	細目番号	モニタリング細目	22年度 達成状況	23年度 達成状況	24年度 達成状況						
①	施設の管理運営を安定して行うことができる実績及び能力があるか	団体の経営方針が明確であり、きちんとした経理がされていること	1	管理業務の実施に係る固有の銀行口座を開設しているか	適正である	適正である	適正である						
			2	資金の適正な管理と経理内容の明確化が図られているか	適正である	適正である	適正である						
			3	延長保育利用料金の徴収は適正に執行されているか	適正である	適正である	適正である						
		4	収支計画が適正であること	収支計画が適正に執行されているか	適正である	適正である	適正である						
		5	管理運営がきちんとできる職員体制や研修体制がとれていること	業務を実施するにあたり適切な人員配置や育成がなされているか	適正である	適正である	適正である						
		6	職員の管理体制が適正であること	業務を行う上で、適切な意思決定や確認の方法がとられているか	適正である	適正である	適正である						
		7	施設の管理運営を安定して行う能力を有しているか	業務の一括委託が行われていないか	適正である	適正である	適正である						
「施設の管理運営を安定して行うことができる実績及び能力があるか」に関するコメント	22年度	指定管理料を含む管理業務が明確化されており、会計管理及び意思決定が適切に実施されている。											
	23年度	小口現金の口座や帳簿類、領収書綴り等は概ね適正に管理されている。現金出納簿については実績報告の総括表の項目ごとに管理していただくことと経理がより明確になるので検討願いたい。また通帳での資金管理については、本部で経理されている資金の流れが見えない部分があるので、指定管理料の資金の流れが見えるように改善が可能か検討願いたい。											
	24年度	小口現金の口座や帳簿類、領収書綴り等は適正に管理されている。帳簿等も実績報告書の総括表の項目に概ね合致した管理となっているため、内容点検もしやすい。											
②	施設の公共性・公平性・公正性の担保が図られているか	8	利用者が公平に施設利用ができるよう、配慮されていること	開館日数、開館時間は守られているか	適正である	適正である	適正である						
		9	施設の公共性、公平性、公正性について継続性が保たれているか	文書の管理・保存が適切に行われているか	適正である	適正である	適正である						
「施設の公共性・公平性・公正性の担保が図られているか」に関するコメント	22年度	文書管理はファイル基準表を作成し、業務日誌、シフト表、月報で開館日数、開館時間を適切に管理している。											
	23年度	日誌には細かな出来事まで詳細に記載されている。障害のある児童の状況や危険行為などの問題行動の恐れがある児童について、指導員間で情報共有できるよう工夫している。											
	24年度	日誌には細かな出来事まで詳細に記載されている。文書は法人としての規程により適正に管理されている。											
③	施設のサービス向上、利用者の増加等を図る方策が優れているか	10	利用者の満足度を高めるための方策が講じられていること	利用者満足度調査の結果をもとに具体的なサービス水準の向上を図っているか	A	(B)	C	A	(B)	C	(A)	B	C
		11	利用者からの苦情処理の体制がとれていること	利用者等からの相談及び苦情に適切に対応しているか	A	(B)	C	(A)	B	C	A	(B)	C
		12	利用時間の延長など具体的なサービス向上が図られたか	A	(B)	C	(A)	B	C	(A)	B	C	
			業務実績が豊富であり、ノウハウを蓄積した運営が図られていること	施設の維持管理が良好な状態に維持され、施設のサービス向上が図られたか	A	(B)	C	A	(B)	C	(A)	B	C
14	事業計画書に基づく情報の公開、広報が行われているか	A	(B)	C	A	(B)	C	(A)	B	C			
「施設のサービス向上、利用者の増加等を図る方策が優れているか」に関するコメント	22年度	学校や地域の行事に積極的に参加し、協働や連携が図られている。施設の維持管理も良好な状態で使用できるよう工夫されている。											
	23年度	苦情対応や、障害のある児童の保育に、指導員が誠心誠意、一丸となって取り組んでいる。											
	24年度	保護者満足度調査の結果は概ね良好であり、苦情はほとんど無い。まだ完成していないが、ホームページの作成に取り組み積極的な情報公開に向けて準備している。											
④	施設の効率的な管理運営が行われ、経費の削減を図る方策が優れているか	15	経費を軽減するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか	(A)	B	C	A	(B)	C	A	(B)	C	
		22年度	紙類などの再利用や不要な電気の消灯など、経費削減に配慮している。										
		23年度	児童が使用する紙や工作の材料は保護者等からの提供によるものが多い。児童が工作で団扇を作成し、エアコンの使用を可能な限り控え、節電に努めている。										
24年度	裏紙やお菓子の空き箱等を工作やお絵描き等、日常活動に積極的に使用し、経費節減に努めている。												

基準 番号	モニタリング基準	モニタリング項目	細目 番号	モニタリング細目	22年度 達成状況			23年度 達成状況			24年度 達成状況		
					(A)	B	C	(A)	B	C	(A)	B	C
⑤	事業の達成目標と実施方針に基づいて事業が行われたか	地域との協働や連携が図られ、又は配慮されていること	16	地域の住民や関係団体等との連携や協働が図られたか	(A)	B	C	(A)	B	C	(A)	B	C
		資源の有効活用など環境に配慮した管理運営がされていること	17	「環境にやさしい八王子市役所エコアクションプラン」と同等の環境に配慮した管理運営が行われているか	(A)	B	C	A	(B)	C	A	(B)	C
		事業計画をきちんと立てておりノウハウを活用している	18	事業計画に基づいた行事は行われているか	A	(B)	C	A	(B)	C	A	(B)	C
「事業の達成目標と実施方針に基づいて事業が行われたか」に関するコメント	22年度	小学校、町会など、様々な団体行事に参加し、連携を深めている。事業計画を達成する努力がみられる。											
	23年度	学校との関係は良好で、児童の担任等と随時情報交換を行い連携を図っている。地域懇談会での情報交換や、町会の資源物回収に協力する一方で町会行事への招待を受けるなど、地域に溶け込んだ活動をしている。											
	24年度	町会、青少対や学校等と積極的にかかわっている。また、法人が力を入れている地域懇談会の充実に努め、地域への浸透を図っている。											
⑥	個人情報保護管理及び危機管理が図られているか	個人情報の取扱いが適切であること	19	個人情報の適切な管理のため必要な措置が講じられているか	適正である	適正でない	適正である	適正でない	適正である	適正でない	適正である	適正でない	
		緊急(防火、防犯等)対応等危機管理体制がとられていること	20	指定管理者が加入しなければならない保険に加入しているか	適正である	適正でない	適正である	適正でない	適正である	適正でない	適正である	適正でない	
			21	事故や災害発生時の緊急時の対応が適正に行われたか。または、適正に行えるよう体制が整っているか	適正である	適正でない	適正である	適正でない	適正である	適正でない	適正である	適正でない	
「個人情報保護管理及び危機管理が図られているか」に関するコメント	22年度	個人情報保護規程を整備し、緊急災害時における対応マニュアルは、地震、家事、不審者、けがなど様々なケースに応じた対応を完備し、訓練を通じ児童への啓蒙を実施している。											
	23年度	個人情報の管理や安全管理について、適正に行われている。											
	24年度	個人情報の管理は適正に行われている。危機管理体制についてもマニュアルが完備され、職員への周知徹底が図られている。											

【総合評価】

《22年度》

協定内容のとおり、適正に事業運営及び施設管理を実施しており、良好だった。

学校及び地域との交流を積極的に実践している。

今後は、更に施設の管理運営を安定して行なうことが出来る実績を生かし、協定以上の成果を期待する。

《23年度》

協定内容のとおり、適正に事業運営及び施設管理を実施しており、概ね良好だった。経理に関して一部資金の流れが見えない部分があるので改善を検討願いたい。

今回モニタリングを行った両施設(長沼・由井かたくら)とも障害児が在籍しているが、指導員の保育に対する献身的な姿勢が感じられた。

由井かたくら学童保育所については、指定管理者が変更となった1年目であるが、地域や学校等との連携が積極的に行われており良好だった。

《24年度》

協定内容のとおり、事業運営及び施設の維持管理は適正に実施されており、良好である。

小規模な施設や学校外の施設、重度の障害児が在籍する施設等、様々な条件の施設の管理運営を行っているが、それぞれ臨機応変に適正な対応がとられており、安定している。

25年度は城山・長沼・上柚木小・中山小学童保育所の指定期間の最終年度であるが、今までの実績を活かした安定した管理運営を期待する。

平成22年度	S	A	(B)	C	D
平成23年度	S	A	(B)	C	D
平成24年度	S	(A)	B	C	D